

# 令和元年度 NIE 実践報告 (取組 1 年目)

日置市立土橋中学校

## 1 はじめに

本校は、本年度創立 70 年を迎えた全校生徒 11 名の小規模校である。生徒数減少に伴い、日々の教育活動も少人数で行うことが多く、多様な意見に触れ、意見を交流したり、思考を深めたりする活動が十分にできないという課題を抱えている。

今年度から始まった NIE の取組を通して、日々届く各種の新聞に触れさせることによって、生徒が視野を広げたり深く思考したりするきっかけとなり、前述の課題を克服することにつながるのではないかと考えている。また、現状に目を向けると、本校では新聞を取っていない家庭も多く、生徒が情報を得る手段はテレビやインターネットが中心になっている。全国紙、地方紙、子ども新聞、英字新聞など、いろいろな活字にじっくり触れる機会をつくることで、新聞を通したメディアとの正しい関わり方も身に付けられるのではないかと考える。

NIE 取組 1 年目の今年度は、購読計画が 9 月からのスタートであったため、まずは担当者の研修を通して、生徒が新聞に興味・関心を持ち、新聞が読みやすくなる環境づくりに取り組んだ。次年度は、今年度の取組をさらに広げ、本校の課題の解決に資する活動となるよう高めていきたいと考えている。

## 2 実践内容

### (1) 令和元年度購読計画

新聞名	配達月							合計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
朝日新聞	○		○	○				3
朝日中高生新聞		○						1
毎日新聞	○	○		○				3
毎日ウィークリー			○					1
読売新聞				○				1
読売中高生新聞		○			○			2
Japan News	○							1
日経新聞	○	○	○			○		4
南日本新聞	○	○	○	○				4

※ 今年度は様子がわからない中で計画を立てたが、重なりが多く、バランスもちぐはぐで、日々届く新聞を効果的に活用できなかった。来年度は一般紙と中高生新聞、英字新聞とのバランスを考えて購読計画を立てたい。

## (2) 新聞に親しむための環境整備

### ① 新聞閲覧台「ヨモヨモ」の作成

今年8月に宇都宮市で開催された「NIE 全国大会」に参加させていただき、その中で下野新聞社が開発した新聞閲覧台「しんぶん台ちゃん」の存在を知った。日置市内にある段ボール会社に相談し、いただいた段ボールを生徒とともに加工し、図書室前に5台設置して新聞を読む環境を整えた。

新聞閲覧コーナーが完成した後、段ボールを提供してくださった日之出紙器のデザイン担当者の方を学校にお招きし、閲覧台へのアドバイスをいただく特別授業も実施した。お話を聞き、さらに興味を持った生徒がいたので、アドバイスを参考にして新たにもう一台を制作した。この閲覧台は、近くの小学校に贈呈し、現在児童たちの新聞への興味を高めようと、本校と同じように活用されている。

新聞閲覧台を自分たちの手で作り上げたことで新聞への関心が高まり、忙しい中でも興味ある記事を探して新聞を読む姿が見られるようになってきた。



☞  
新聞閲覧台  
「ヨモヨモ」  
づくり



《図書室前・新聞閲覧コーナー》☞



☞  
地元日置市の日  
之出紙器さんを  
招聘しての特別  
授業



### ② 新聞スクラップブック

学年ごとにテーマを決め（1年は環境・学び・遊び、2年は平和・福祉・環境、3年は進路・仕事・未来）、一週間交代でスクラップにまとめさせた。職員も『英語版』や『注目記事』で取り組んだ。

文化祭で展示した「スクラップブック」☞



### ③ NIE コーナーの設置

校長室前の掲示板を利用して、話題の記事を掲示した。また各学級に「NIE コーナー」としてコルクボードを購入し、NIE 担当がぜひ読んでほしい記事をラミネートして掲示している。考えてほしい記事や知っておいてほしい記事を中心に係で選び、定期的に記事を張り替えている。また生徒の「若い目掲載記事」や本校が取り上げられた新聞記事も玄関掲示板で紹介している。



校長室前の掲示板

「活用の場」を設置したことにより、生徒は身近なニュースに関心を持ち、生徒会では自然災害が起きた時の募金活動にも新聞記事を使ってポスターを作るなど、工夫しながら活動につながっていた。また、生徒の中には、自らの関心のある新聞記事を切り抜き、カレンダーの裏にまとめるなど独自に「土橋新聞」を作成する生徒も出てきた。

学級掲示用「NIE コーナー」



生徒会の募金に新聞記事を活用



生徒が独自に作成した「土橋新聞」

### (3) これまでの実践・取組

- 全校朝会や生徒集会において、新聞記事を使った話。
- 行事終わりに感想を500字程度でまとめ、「若い目」に投稿する。(掲載された記事を校内に掲示して啓発)
- 図書室に本の書評欄を掲示。

- ・ 生徒会活動（生徒朝会）での記事についての意見交流。

《教科として》

○ 国語科

- ・ 毎週木曜日の朝に 15 分間ある「紡ぎの刻」で各新聞コラムの速音読と視写。（4分間で3紙のコラムを音読し、そのうちの1日分を10分間で書き写す）
- ・ 単元や行事についてA4の「新聞」としてまとめる。
- ・ 「オセモコ」や「よむのび教室」の掲示。

○ 社会科

- ・ 新聞記事を使った公民の授業。環境問題の記事や選挙・議会制度に関する記事。

○ 英語科

- ・ 英字新聞を掲示して、意識付け(英語検定等への啓発)
- ・ 「オセモコ」や「NEWS な言葉」の掲示。

○ 理科

- ・ 天体や科学的な記事の掲示。



掲載された新聞記事コーナー《》

#### 4 1年目の成果と今後の課題

##### 【成果】

- 日頃見ることが少ないジャンルの新聞に触れることで、情報を発信するための工夫に気づくことができた。
- 生徒が国内外のニュースや出来事、各年代のメッセージ（投稿欄）に対して関心を持つようになった。
- 自分たちが制作した新聞閲覧台を、小学校や地域の図書館に寄贈するなど NIE 活動に広がりが見られた。

##### 【課題】

- 今年度は途中からの開始であったため、教科によって取組に偏りが見られた。
- 教科以外でも全職員、生徒が関わりやすい手立てを考える必要がある。（教育課程で盛り込む等）
- 日々たまっていく新聞の保管・管理の仕方の工夫。
- 学年ごとにテーマ（1年：環境、2年：福祉・平和、3年：進路）を決めてスクラップさせたが、逆に生徒の興味・関心と離れることもあった。（個人個人でのスクラップが効果的か？）
- 日々勉強や生徒会活動、部活動等で忙しい生徒が、じっくり新聞を読む時間の確保が難しい。
- 教科や学校行事において（日程や進度の調整をする必要があるが）、他校と共通テーマや記事を取り上げて意見交換をする機会を作りたい。